

令和4年4月25日

資料5



# 検討の方向性とスケジュール

---

～広島県リスキリング推進検討協議会～

## ○ DXの進展等により生じる需給ギャップの推計

- DXの進展などによる産業構造の変化や生産年齢人口の減少を踏まえ、本県の人口動態や産業構造・就業者の構成から、広島県の労働需給の変化を見通し、職種ごとの需給ギャップ（ミスマッチ）を推計してはどうか。

## ○ 習得が求められるスキルの整理

- 上記の需給ギャップを踏まえ、高い需要が見込まれる分野への労働移動が可能となるスキルを今後習得が求められるスキルとして整理してはどうか。
- また、整理されたスキルの提示にあたっては、リスキリングに取り組む企業の指針となるよう、企業が取り組む事例（例：製造現場の自動化、eコマース導入等）ごとに、業務や職種との関係において必要なスキルとして提示してはどうか。

### ○ 働きながら学ぶために必要な労働環境・雇用管理のあり方の整理

- ・リスクリングが企業に定着するための労働環境や、従業員がやりがいや働きがいを感じてリスクリングや業務に取り組めるよう、適正評価や処遇など雇用管理のあり方について整理し、メリット・デメリットや業種、職種、企業規模別の導入ポイント等、企業が導入する際の目安として提示してはどうか。

### ○ 労働市場の流動化に向けた社会システム等の課題の整理

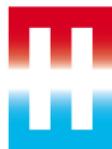
- ・日本型雇用慣行，税制や社会保障制度，セーフティネットの構築，人的資本の評価，リスクリング費用の公的負担などの課題を整理してはどうか。

### ○ 円滑な労働移動が可能な社会の実現に向けたロードマップの作成

- ・公労使が協力して推進するためのロードマップ（※）を作成してはどうか。

※ デジタル化の加速度的な進展など外部環境の変化が県の産業・職種に与える影響や、企業や労働者の変化への対応・マインドの分析も踏まえながら、需給ギャップの解消に向け、リスクリングや労働移動を促進するために県として何に取り組むべきか、時間軸とともに取組の方向性などを整理するもの。

時期	会議体	検討事項
R4.4.25	協議会	(本日)
R4.6	雇用環境分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考人からの意見聴取</li> <li>・リスキリング定着に向けた労働環境・雇用管理の改革を行う上でのボトルネックと改善策の在り方</li> </ul>
R4.7	スキル分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考人からの意見聴取</li> <li>・DXの進展によって必要となる職種や業務, 新たな職種や業務に必要なスキル</li> </ul>
R4.8	協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内企業実態調査の途中経過報告</li> <li>・協議会としての中間報告</li> </ul>
R4.10	分科会	(それまでの議論を踏まえて設定)
R4.12	分科会	(それまでの議論を踏まえて設定)
R5.5	分科会	(それまでの議論を踏まえて設定)
R5.7	協議会	・最終報告



元気、  
美味しい、  
暮らしやすい  
ENERGY OF PEACE  
ひろしま